

翻刻凡例

- ・翻刻に際しては、当該資料を撮影した画像データを使用した。該当箇所画像データが不鮮明な場合は、原資料の確認や他の所蔵機関による画像データを適宜参照した。
- ・改行は底本の通りとした。
- ・変体仮名は現行の字体に改め、漢字は底本の表記に可能な限り従った。
- ・振仮名がある場合は、振仮名が付いている漢字列の前に半角ピリオドを打ち、漢字列の後をくゝ(全角山括弧)で囲んだ上で記載した。なお、漢字列と振仮名が二行にわたる場合は、一行ごとに入力した。
- ・繰り返し符号(踊り字)の表記は、表1の通りとする。ただし、原本の表記に従った結果、平仮名・片仮名・漢字の繰り返し符号がその意味と合致しない場合がある。

表1 繰り返し符号(踊り字)の入力規則

表記	当該表記の意味および入力規則
ゝ	平仮名一文字の繰り返し
ゝ	片仮名一文字の繰り返し
々	漢字一文字の繰り返し
／＼	複数文字・フレーズの繰り返し 全角スラッシュ+全角逆スラッシュ
／＼	複数文字・フレーズの繰り返し。濁点あり 全角スラッシュ+半角濁点+全角逆スラッシュ

- ・解読不能と判断した箇所には、「□」を施した。
- ・各面の見出しは[](角括弧)で示したが、適宜、原本画像と対照のうえ、表2を参照されたい。

表2 各面の見出しの概要

見出しの記載	概要
算用数字	ページ数
表紙	題箋または表紙の記載
右/左	ページに対して左右どちらに記載があるか。 右=丁付けの裏、左=丁付けの表
上段/下段	見開きの上段・下段で文章が成立している場合の配置
右上/左下等	挿絵によって文章の位置が通常と異なる場合の配置
挿絵	挿絵があり、当該箇所に記載がない
枠内	文章が枠に囲まれている場合の配置
判読不能	当該ページの大半が摩滅等で判読不能な場合

以上